

平成 21 年度 日本生物物理学会第 48 回定例総会報告

日時：2009 年 10 月 31 日（土） 13:15~14:15

場所：徳島文理大学・薬学部（21 号館）・国際会議場（2 階）

議長：年会実行委員長 桐野豊

議長の桐野氏より、出席 90 名委任状 170 名、合計 260 人で総会の成立が宣言された。

報告事項：

1. 国際化、国際交流（永山）

オブザーバーの永山氏より、国際化と国際交流についての報告が行われた。まず、IUPAB (International Union Pure & Applied Biophysics) 代表として活動報告が行われた。主に、非先進国向けの学校や、各種団体への援助を行っていること、2011 年 10 月 29 日より北京で行われる 17th IUPAB Congress でのシンポジウム提案を本学会員に依頼することなどが報告された。次にアジアでの活動として ABA (Asian Biophysics Association) の活動報告が行われた。2011 年 1 月 30 日よりインドのデリーで 7th ABA Symposium が行われることが報告された。続いて世界の生物物理学会の会員数について報告され、新興国で生物物理に対する関心が高まっていることと、世界で 2 番目という歴史を持つ日本の学会がフロンティアとして発言力とプレゼンスを維持していくことが重要であると報告された。

2. 平成 20 年度決算報告、ならびに監査結果報告（船津）

会計の船津氏より、平成 20 年度の決算が報告され、決算内容、監査報告について詳細な説明が行われた。

3. 平成 21 年度会計、ならびに事業の中間報告（船津）

ひきつづき船津氏より、平成 21 年度の中間決算が報告された。広告収入が半期分であり、支出もほぼ予算案通り進められていることが報告された。

4. 平成 22・23 年度役員選挙結果の報告（辰巳）

選挙管理委員の辰巳氏より 22・23 年度役員選挙結果が報告された。その結果、副会長に伊藤悦朗氏、運営委員に相沢智康氏、岡崎圭一氏、高田彰二氏、野地博行氏、柳澤実穂氏、上久保裕生氏、寺嶋正秀氏の 7 名が選出されたことが報告された。また、監事として若林克三（大阪大学名誉教授）氏が選出された。

5. 平成 21 年度事業の中間報告および今後の計画。

会長の曾我部氏より、事業の中間報告が行われた。(1) 出版事業として、会誌を可能な

限りコンパクトにすることが実現し、予算も改善されたこと、英文誌 BIOPHYSICS が徐々に進められていること、HP 委員会が独立委員会として発足し、石島委員長の元に HP の充実化がすすめられ、メール配信などが行われるようになったこと。(2) 国際化へ向けての活動として、年会の国際化が着実に進められていること。(3) 政府との関係として、学術会議の中での第 21 期分科会として生物物理分科会（委員長・曾我部、副委員長・難波、幹事・原田）、IUPAB 分科会（委員長・永山、副委員長・曾我部）が発足したこと。(4) 生物科学学会連合での活動を通して法人化に対応していること。(5) 科研費時限付き細目「メカノバイオロジー」を提案し、採択されたこと。(6) 50 周年記念事業として「テキスト生物物理」の出版計画の企画委員会が発足したこと。(7) 男女共同参画、若手育成、啓蒙活動として、物理チャレンジや生物チャレンジへの参画、女子高生夏の学校への参加などが報告された。また、ポストク・キャリアパス問題が緊急課題になっていると報告された。

6. 平成 22 年度会長所信（片岡）

次期会長の片岡氏より、平成 22 年度の会長所信表明が行われた。(1) 生物物理学のさらなる発展を目指す。“生物としても物理としても面白いのが生物物理”という大沢文夫先生の文言を受けて、分野を広げていく。(2) 次代の生物物理を担う人材の育成のための方策を考える。(3) 引き続き国際化国際交流の推進を目指す。(4) 学会活動の充実をめざし、会員を増やす方策を考える。また、年会とは別に 50 周年記念事業を行いたいと考えている。との所信表明が行われた。

審議・承認事項：

1. 平成 22 年度予算案、および事業計画（船津）

資料に基づいて平成 22 年度の予算案および事業計画について会計の船津氏により報告された。収入が減っていること、名簿作成費用、50 周年事業予算が計上されていることなどが説明され、総会により承認された。

2. 名誉会員の推挙

細則 1 条の 1 に基づいて、大阪大学教授の柳田敏雄氏が第 23 号名誉会員として推挙され、承認された。曾我部会長より柳田敏雄氏（代理難波氏）へと認定証の授与が行われた。

3. 平成 22・23 年度年会

第 48 回年会（仙台）および、第 49 回年会（兵庫）について年会実行委員長より準備状況の報告が行われた。仙台年会と物理学会の日程が重なっているという問題が指摘された。

・第 48 回年会

日時：平成 22 年 9 月 20 日（月）～9 月 22 日（水）

場所：東北大学川内北キャンパス

年会実行委員長 鈴木 誠

・第 49 回年会

日時：未定

場所：兵庫地区

年会実行委員長：兵庫県立大学 教授 小倉尚志

4. その他

年会実行委員長の桐野氏より、本会の年会在問題なく成功しつつあると報告が行われた。